



四万十川と生きる

(1)

名前

「四万十川と生きる」(1)を読んで、答えましょう。

(一) 四万十川は、どう言われていますか。 **日本最後の清流**

(二) 四万十川の漁師が、「アユ」を「アイ」とよぶ理由を二つ書きましょう。

言いやすいから。

アユを心から愛しているから。

(三) 四万十川の春の川辺の景色について書きましょう。

① どの風景が特にきれいなのか、六字でぬき書きしましょう。

佐田の橋辺り

② 黄色いじゅうたんは、何のことでしょう。

菜の花が兩岸一面にさきほこっている様子

(四) 春の息づかいは、何からもわかるかと言っていますか。

川にすむ生き物(アイ)

(五) アイについて書きましょう。

① アイは、冬の間はどこですこしていますか。

太平洋

② アイは、春になるとどうしますか。

ふるさとの四万十川にもどってくる。

③ アイは、何を食べて太っていきますか。

川底の石や、岩にはえる(好物の水)け

(六) 春の四万十川は、まるで生き返ったみたいとありますが、どういうことか、三十字以内で書きましょう。

小魚	や	アイ	が	川	を	上	り	始	め	、	そ	れ	
を	ね	ら	っ	っ	て	鳥	た	ち	も	飛	び	回	る

(七) 今では、ホタルの灯も、野鳥の大合唱もぐんと減ってしまつた。とありますが、原因は何だと思われませんか。

自然破かい



四万十川と生きる

(2)

名前

「四万十川と生きる」(2)を読んで、答えましょう。

(一) 七月には上流で、八月には中流で、アイ漁がさかんになるのは、なぜですか。

アイは、上流に上りつめたあと、だんだんと下流へ下ってくるから。

(二) 昔、アイがたくさん下ってきたことを、どう表現しているか、十四字でぬき書きしましょう。

アイで川の色が変わって見えた

(三) アイがどれほどたくさんとれたか、二十五字でぬき書きしましょう。

その	重	み	で	ふ	ね	が	し	ず	み	や	せ	ん	か	と
心配	する	ほ	ど	と	れ	た								

(四) 夜にたいまつを使って、アイをとる漁法を何と言いますか。 **火ぶり漁**

(五) アイがめっきり減ってしまった原因と思われることを、二つ書きましょう。

アイをとりすぎた。 **水が悪くなった。**

(六) どうしてアイのよ **アイに産卵させるため。**うにするのでしょうか。 **(産卵前のアイをとると、来年のアイが減ってしまうから)**

(七) 「落ちアイ」というのは、何ですか。 **産卵を終えたアイ**

(八) 夢物語について書きましょう。

① 何が、夢物語なのですか。

アイが川いっぱいにあふれたこと。

② どうして夢物語になったのですか。

こころ、四十年で川をいためたから。

(九) 「わし」は、四万十川をどのように思っているでしょう。

きつと生き返る力があるのとたのもしく思い、今まで四万十川で生かされてきたんだと感謝している。

(十) 「わし」は、四万十川にはどんな力があると思っていますか。 **生き返る力**

(十一) 「わし」は、何を支えにして、がんばって生き続けようと思っていますか。

(十二) 日本最後の清流を守り、自然を大事にしたいみんなの声。